

学位記授与式でパソコンテイクを実施しました！

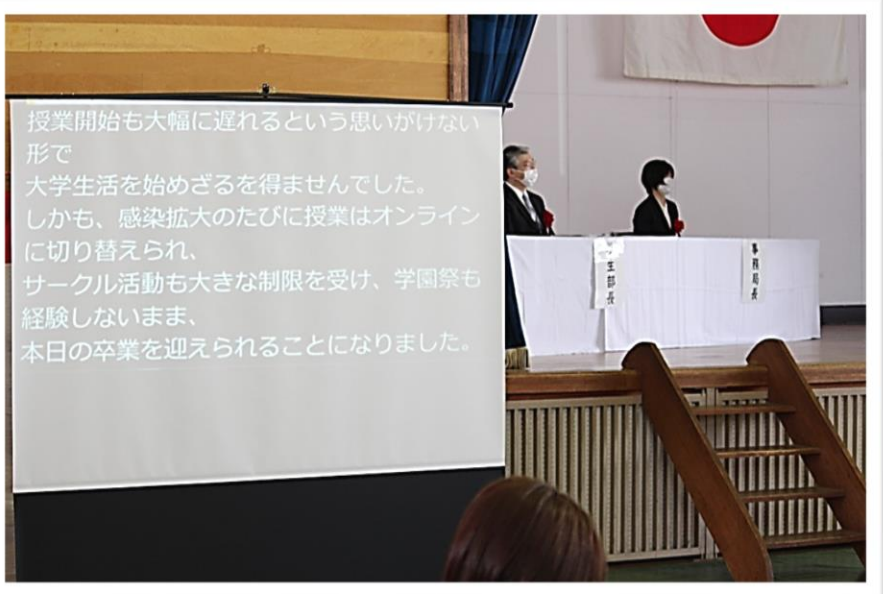
【支援を利用した学生より】

式の流れが文字化されることによって今何をしているのか、どんな話をしているのかを理解することができたので大変助かりました。授業だけでなく、このような式などでもパソコンテイクを利用できるのだと、さらなる活用方法を知ることができました。

【支援にあたった学生より】

今回の学位記授与式がはじめてのパソコンテイクの実践で、本番中は緊張続きでした。しかし、一緒に支援に入ってくれた方のアドバイスもあり、無事に学位記授与式での役割を果たせたと思います。連携入力では、読まれる方がわかりやすいよう、要約して打ち込むことが1番難しかったように感じます。私は、次年度の授業中のパソコンテイクに向けて授業内容を正確に伝えられるよう頑張りたいと思います。また、この支援をきっかけに手話に興味を持ち、要約筆記というものがあるということを知り、挑戦してみようと思いました。

支援が必要な方の力になれるよう、講座や交流などに参加して理解を深めると共に、これからより多くの支援をしていきたいと思っています。



授業開始も大幅に遅れるという思いがけない形で
大学生活を始めざるを得ませんでした。
しかも、感染拡大のたびに授業はオンラインに切り替えられ、
サークル活動も大きな制限を受け、学園祭も経験しないまま、
本日の卒業を迎えられることになりました。

【支援にあたった学生より】

普段の講義での支援とは違い予め台本が決まっていたのですが、スケジュールの急な変更や拍手のような台本には無い事を伝えるために、臨機応変に対応していく必要があったことが大変でした。しかし、他の支援者とチャットを通してコミュニケーションが取れた事で、トラブルなく式を終えることができて良かったです。来年度も支援させていただくため、今回の経験を今後のパソコンテイクにも活かしていきたいです。

【支援にあたった学生より】

普段のパソコンテイクの支援は、対面授業やオンデマンド授業での支援が主だったので、学位記授与式での支援は難しいのではないかと心配していました。ですが、実際に支援を行ってみたところ、慣れない点はありましたが、パソコンテイクの利点を上手く活かして支援ができたのではないかと思います。今回の改善点を踏まえ、更により良い支援が行えるようスキルアップを目指して頑張っていきたいです。

